

平成 18 年度

「中小企業の診断及び助言に関する実務の事例」の出題の趣旨

第 1 問（配点 10 点）

コストダウン要請の厳しい自動車業界にあって、C社の経営のどこに好業績を続けている理由があるかを読み取ることができるかについての情報把握能力と情報分析力を問う問題である。

第 2 問（配点 25 点）

得意先分散などの得意先構成と、具体的な取引場面で起こりうる生産拡大要請という問題をどのように関連づけ解決できるかについての問題認識能力と問題解決能力を問う問題である。

第 3 問（配点 25 点）

グローバル化時代の生産対応としての海外進出という潮流の中で、国内生産に固執するための条件を、C社の現状を踏まえ、どこまで提案できるかについての問題認識能力と問題解決能力を問う問題である。

第 4 問（配点 20 点）

地球環境問題に取り組んでいる自動車業界の中にあつて、技術開発力の強化という視点のみでC社の三価クロメート処理への対応を理解するだけでなく、環境経営との関連を含めてどこまで理解できるかについての情報把握能力と問題認識能力を問う問題である。

第 5 問（配点 20 点）

情報システムの整備に当たつて、管理データとしてどのような属性と項目が提示できるかについての情報把握能力と問題解決能力を問う問題である。

以上